

各区だより

守山区 もりやま

ニーズに合った活動が
会員の増加に求められる
と確信します



います。

さて、森孝東学
区「芙蓉会」の会
員数も平成12年の
121人をピーク
に、平成26年には
68人と、このまま
では財政破綻は確
実の事態となりま
した。事態打開の
対策の柱を、ニー

守山区老連は、昭和39年9月
に60クラブ・会員数3270人
でスタートしました。しかし、
令和5年には31クラブ・会員数
1398人と大幅に減少しまし
た。

高齢化社会を活力のある社会
として維持増進することを目的
に施行された老人福祉法は、全
国各地での老人クラブ新設を促
しましたが、現状は、クラブ数、
会員数とも減少に歯止めが掛か
らない事態にあるにもかかわらず、
原因究明、改善具体策への
取り組みが不十分との懸念を持
たざるをえません。

また、同法はその目的を進め
るため適当な援助を促していま
すが、名古屋市の場合、各クラ
ブへの財政支援は、ピークの月
額4800円から平成15年には
3460円へと減額、この年を
境にクラブ数、会員数ともに大
幅な減少が続ぎ、令和5年には、
過去最低となっています。こう
した現状に対する危機感が今一
つ感じられないことに危惧して

ズに合った活動を見極めること
に置き、アンケート調査やヒア
リングを実施。その結果、12の
活動(現在はポッチャを加え
13)に絞り、土木事務所や連合
自治会の協力も得て、カラー刷
りチラシを作成してPRした結
果、幸い現在の会員数は149
人と過去最多となっています。
今後もし引き続きニーズの見極め
に地道な努力を続けてまいりま
す。(杉原 武)



緑区 みどり

大高学区
高見親睦会の活動

我がクラブは平成24年4月に
会員相互の親睦融和を図り、支
え合い、いきいき暮らせるまち
づくりを目指し28名で発足。こ
の10年間に新たに31名の会員が
加入しました。現在は、59名の
会員数となり、平均年齢は73歳
です。

当初より継続的な活
動を目指し、4月は食事
会を兼ねた総会を、5
月以降は地域のホール
を拝借して楽しいイベ
ントも含めた例会を開
催。6月には毎年恒例の
ドームでの観戦ツアー。
子どもを含めた50名で
の団体観戦は、今年は日
本ハムとの交流戦。3
対6で中日は



旅行を続けています。10回目を
迎えた今回は、西浦温泉のホテ
ルにて食事と温泉入浴でくつろ
ぎました。その後、近くの水族
館、海鮮市場に立ち寄り、大い
に親睦を図りました。
新年を迎えると、恒例の新年
会。今年8回
目となります
が、地元日本
料理のお店に
いつも30名近
い参加者で、
新しい年を迎
えています。

仲間づくり
の活動として
は、健康維持
にと、ゴルフ
コンペを年6回開催、会
員も24名となり、老人ク
ラブの加入へ大きなきつ
かけにもなっています。
9月の開催も晴天に恵ま
れ、今回も初参加者があ
り、親睦会の輪を広げて
います。



地域ボランティア活
動としては、毎月駅前と
小学校の清掃活動、1年
生を対象とした見守り活
動、青パト防犯活動など、生き
生きと活動をしています。

これからも地域の繋がりを大
切に、健康づくり、仲間づく
りを目指した活動を積極的に続け
たいと思っています。

(木村 義男)

4年振りの夏休みラジオ体操。
地域の皆さん40数名と多くの方
が近くの公園に集まり、毎朝元
気な子どもたちと共に爽やかな
朝の一日のスタートを迎えるこ
とができました。

秋には毎年恒例の日帰りバス